



修学旅行



発行所
〒704-8112
岡山市東区
西大寺上2-1-17
Tel. (086) 942-4150
西大寺高校広報室



関西

「人生最後の修学旅行」
商業科二年 中本 楓
(西大寺中出身)

今までずっと楽しみにしてきた修学旅行が終わり、振り返ってみるとたくさんの人に支えられて実現した旅行だったと感じました。

東日本大震災があり、楽しみだった関西への旅行はなくなりました。けれど、先生方が一生懸命プランを立ててください、関西コースを楽しめることができました。初めは、班行動が多く、班長としていややとまどめようかと悩みました。一から自分たちで行きたい場所を決め、時間配分をして、どのような経路で進むかなどを決めるのは、とても時間のかかることでした。班員の協力で早く行きたい気持ちでいっぱいになりました。

修学旅行一日目には京都です。歴史のあるお寺や石碑を探しに行きました。乗る電車も分からず、止まっていたタクシーの運転手さんに尋ねると、とても親切に教えてくださいました。驚いたことに、岡山出身の方で、西大寺を知っていたりしていました。そして、京都の名所などを勧めてくださいました。とてもよかったです。後、買い物をして楽しめました。

二日目は大阪で班別研修でした。計画通りの時間には進まなかったけれど、友達と地図を見ながら知らない街を行くのもとても新鮮でした。

三日目はユニバーサルスタジオジャパンでアトラクションに乗ったり、ショーを観たり、暑かったけれど楽しかったです。四日目は大阪をバスに乗って観光しました。大阪城や空中庭園は初めてでたくさん写真を撮ることができ、充実した一日になりました。

この修学旅行は人生最後の修学旅行だったので思い出に残るものになってよかったです。そして、友達や先生方を今までよりもっと好きだと感じるようになりました。

関西

「思い出の修学旅行」
普通科二年 尾崎 由紀
(山南中出身)

六月二十一日待ちに待った修学旅行に出かけました。一ヶ月ほど前から友達との間で修学旅行の会話をしていました。また、先輩からも修学旅行を楽しむ方法を教えてもらい、最高の気分で行く修学旅行当日を迎えました。

修学旅行で感じたことは二つあります。

一つ目は人の温かいです。大阪で少し私達を見たらお年寄りの夫婦が、向こうから声をかけてくれました。岡山では滅多に見られない光景だと思います。二つ目は友人と過ごす楽しさを感じました。この修学旅行で思ったのは関西コースに行こうと北海道で思ったのは同じくらい九州コースに行こうと、その旅行の楽しさは一緒に行く友達や先生などが決めると思えました。私は同じ部活動の友達と四日間のほとんどともに過ごしましたが、四日間のほとんどを笑っていたように思います。友達と一緒にいることへの喜びや幸せを感じました。また、友達や自分の周りにいる人たちがこの先も大切にしていきたいと思えました。

この修学旅行の前には人生で最後の一度しかない旅行を一生最高の思い出として残るものにしてやろうと思っていました。残りの思い出に小さな小さな思い出が積み重なって大人になって友達と思える思い出ができたのだと思います。こんな最高の旅行を計画してくださった先生方に感謝しています。この先の学校生活は、浮かれず気を引き締めて送っていききたいと思います。

北海道

「最高の修学旅行」
国際情報科二年 太田 千晴
(旭東中出身)

小学生、中学生と修学旅行へ行き、高校生の今回は、人生最後の修学旅行になると思い、すごく楽しみにしていました。心配していた北海道の気温はとても寒かったですが、体調を崩すことなどがなかったのがよかったです。

一日目に訪れた、美瑛や富良野の広大な土地は空も景色もきれいで、長い移動で溜まっていた疲れはなくなりました。また、綺麗な夕日を見ることもできて感動しました。

二日目は待望の旭山動物園に行きました。旭山動物園には「もぐもぐタイム」と呼ばれる、入場者の見ているところで動物にエサを与えるというイベントがあります。動物によってその時間は異なり、もぐもぐタイムになると、多くの人が動物の周りに集まってくるので、フクロウの目やササゲの目やヒヨコが与えられたのを見て、目を伏せる人もいました。飼育員の人は「ヒヨコが食べられることより、人間がその事を知らないほうが残酷だ」と言っていました。

北海道

「修学旅行で学んだこと」
商業科二年 實金 理紗
(山南中出身)



私はこの修学旅行で北海道に行き、感じたことや学んだことが沢山あります。まず同じ班の人達との絆が深まったような気がしていました。最初の頃は、出合っで少し経っていない人達と人見知りをする私が何日も一緒に楽しく過ごせるか、少し不安に感じていました。しかし、いざ北海道に行ってみると、私のそんな不安は杞憂に終わりました。皆が優しく接してくれ、とても安心したのを覚えています。おかげで、私にとって最高の価値のある修学旅行になりました。団体での旅行は、緊張することや不安になることもありますが、よりお互いの絆を深めるチャンスだと、改めて感じました。

そして、班別自主研修では、何よりも班長のリーダー性が問われるのだということに気がきました。勿論班員一人一人の協力も大切ですが、やはり団体を行動するにはまとめる力が重要です。まとめ役を務めるにはそれ相応の能力が必要で、まとめ役を経験したこと無しの私が想像するよりはるかに難しいと思います。そのため私は自ら責任者に名乗り出してくれた班長に、心から感謝し、尊敬するばかりです。

様々な経験ができた修学旅行になりましたが、私はこの旅行で学んだ経験を生かして、物事に責任感を持って行動する、人の意見を尊重する、時間を絶対を守る、などのようにして当たり前のことを当たり前に出来るようになりたいです。

九州

「充実の四日間」
普通科二年 徳田 夏奈子
(旭東中出身)



今年の修学旅行は例年と違った修学旅行だった。震災の影響でコースの変更をせざるを得なかった。最後まで迷って迷ってやっとならなれた九州コースだった。決まった後もやはり本意で行きたくはなかった。次期に当日に近づくと、モヤモヤがワクワクへと変わっていった。

一日目、マリノワールドと福岡タワー。まさかあんなに楽しめるとは思っていませんでした。見たことのない可愛い魚を沢山見て、イルカやアシカショーを観て、船で移動して福岡タワーからの絶景。

二日目、福岡市内自主研修。キャナルシティなどで買い物をして、岡山の規模の違いに度々驚かされる一日だった。昼食には博多ラーメン、夕食にはモツ鍋と福岡のグルメをかなり満喫できた。

三日目、長崎市自主研修。昼食に中華街で中華料理を食べた後、驚くことにお土産通りでほとんど四時間過ごした。お土産を選んだり、御当地グルメを食べたり、試食もたくさんしたり。この日もとても楽しい一日だった。

四日目、スベールワールド。絶対に苦手な私の中で涼みながら喋っていたのもまた思い出になった。

この四日間言い表せないほど充実して楽しかった。四十人と先生方四人で行った修学旅行。このメンバーで本当によかった。北九州コースを選択して本当によかった。多くの人の支えがあった修学旅行。修学旅行がとても楽しかった思い出になったことに感謝。できることならもう一度修学旅行に行きたい。

「新生徒会長挨拶」

新生徒会長 普通科二年 大森 基晶 (西大寺中出身)

みなさん初めまして。この度生徒会長に選出された大森基晶です。

私は前年度から書記として生徒会の仕事に携わってきました。その中でいろいろなことを学びました。それは、1つの行事を役員みんなで事前に準備して、上手くやり遂げた後の達成感であり、そして自分一人が動いても何も変わらない、「みんなでする」だからこそ意味があるということ。生徒会の中で活動していくうちにだんだん、「自分ならこうしたい、自分ならこうできる」と考えるようになり、自分が長い間考えた思いがどれほど通用するか試してみたいと思うようになりました。私が目指す西大寺高校の生徒会は、生徒一人一人の意見が直接生徒会に反映される、「みんなでする」生徒会です。

そのためには、何が必要か？

それは、何らかのActionが起こせる。元氣。過去に例が無い物にも果敢に挑戦して行ける勇気。そして何事に対しても、やる気であると考えます。みんなのためにできることを大胆に行ない、かつしなやかに対応していきけるよう精一杯努力していきます。

会長の仕事はとても大変な物です。ですがその分とてもやりがいのある仕事でもあります。私は会長の仕事を「大変なもの」として捉えるのではなく、「やりがいのあるもの」と考え、その会長の仕事にこそ光を感じています。

今年は球技大会がいつもより冬季にずれ込んで、年末の生徒会の仕事为重なり立て続けにあります。なので、まずは新生徒会の初仕事である球技大会が大成功に終わるように努力して、他の行事も「早め早めの行動」を心がけて頑張りたいと思います。

最後になりましたが、これからも西大寺高校生徒会への御支援、御協力を心より御願ひ申し上げます。